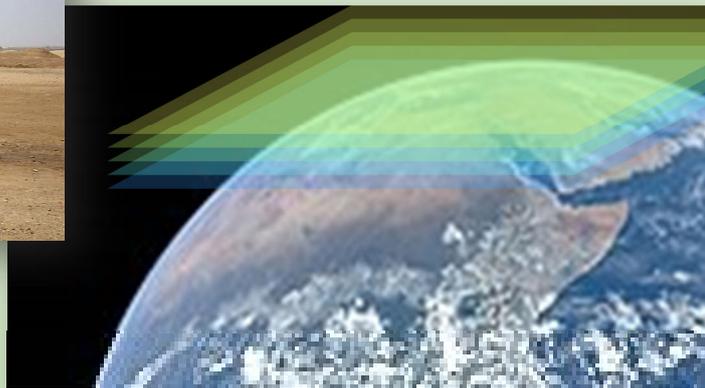


メソポタミア遺跡マッピングプロジェクト キックオフシンポジウム 「メソポタミアにおける文化遺産の現状と GISデータベースにもとづく情報発信の可能性」



日時：2024年1月31日（水）13：00～15：40
（16時よりお茶会形式の懇親会 ※対面形式でご参加の方対象）

会場：【対面形式】京都芸術大学 歴史遺産学科自習室（人間館4階）
【オンライン形式】Zoom（お申し込み後ZoomのURLをご連絡いたします）

参加費：無料

定員：対面型のみ20名（先着順）。オンライン形式はどなたでもご参加いただけます。

申し込み方法：以下のリンクよりお申し込みください。【申し込み期限：1月30日（火）】

<https://peatix.com/event/3817913>

申し込み用
QRコード



プログラム：

13:00～13:10 開会挨拶・事務連絡

13:10～13:50 「メソポタミア文化遺産の現状と課題」
小泉 龍人（NPO法人 メソポタミア考古学教育研究所代表）

13:50～14:30 「歴史遺産におけるGISデータベースの現状と将来」
宇佐美 智之（京都芸術大学歴史遺産学科 専任講師）

14:30～14:40 休憩

14:40～15:40 クロストーク「オンラインカフェ」

16:00～ 懇親会

主催：京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科／NPO法人メソポタミア考古学教育研究所
協力：京都芸術大学日本庭・園歴史遺産研究センター

◆◆◆◆◆◆ ご案内 ◆◆◆◆◆◆

京都芸術大学歴史遺産学科では、研究会活動の一環として、NPO法人メソポタミア考古学教育研究所と共同し、メソポタミア地域の考古遺跡のデジタルマッピング化プロジェクトをはじめます。本プロジェクトは学生参画型事業となり、インターネットを通じて、日本のみならずイラク本土の大学生とが共同作業を行い、互いの文化への理解を深め、人類共通の遺産の保護に貢献することを目指しています。

2月に予定されているデジタルマッピングのワークショップに先立ち、このたび、「メソポタミアにおける文化遺産の現状とGISデータベースにもとづく情報発信の可能性」と題したミニシンポジウムを開催することとなりました。ワークショップへ参加希望の方だけでなく、この活動を見守ってくださる多くの方を対象とした対面・オンラインのハイブリット型のシンポジウムです。どうか奮ってご参加ください。

◆◆◆◆◆◆ 講演内容 ◆◆◆◆◆◆

■ 題目

メソポタミア文化遺産の現状と課題

■ 要旨

2016年、南メソポタミアのシュメール地方（南イラク）の遺跡群が世界遺産に登録されました。発表者は現地を巡検して遺跡群の現状を把握するとともに、イラクの若者が自国の歴史を十分に学べていない課題に直面しました。一方、日本人の意識のなかで、現代イラクと都市文明発祥地のメソポタミアが地理的・歴史的にむすびついていないという問題も見受けられます。そこで、2018年よりメソポタミア都市文明の文化遺産を活用した若い世代への歴史教育を目的とした市民参加型組織を立ち上げました。本発表では南イラクの遺跡群の現状、弊所の目指す方向性について語ります。

■ 略歴

小泉 龍人（こいずみ たつんど）

1964年東京生まれ。特定非営利活動法人 メソポタミア考古学教育研究所（JIAEM）代表理事。明治大学研究・知財戦略機構客員研究員、早稲田大学などにて非常勤講師。博士（文学）。シリア、トルコ、イラクなどで考古学研究調査に従事。主著に『都市の起源』（講談社）、『都市誕生の考古学』（同成社）など。2015年国立科学博物館特別展「ワイン展」学術協力。専門分野はメソポタミア考古学、比較都市論、古代ワイン。



■ 題目

歴史遺産におけるGISデータベースの現状と将来

■ 要旨

歴史遺産を記録・公開する場合、例えば「商品カタログ」のように文字や写真によって情報を管理し発信することがありますが、それだけでは十分ではありません。何が／どこに／どのように存在（分布）するかを地図上で「見える化」することが大事であり、そうした地理情報の適切な取り扱いにより学術的な調査研究や管理・防災計画の実務などに幅広く役立てることができます。そしてその作業に欠かせない知識・技術が「GISデータベース」です。ただし、この知識・技術を実際に学ぶことができる場や機会は相当に限られているのが実状です。本発表では、そもそもGISとは何かを含め、歴史遺産に関わるGISデータベースの様々な実例や意義、そして今後の方向性について解説を加えます。

■ 略歴

宇佐美 智之（うさみ ともゆき）

1987年静岡県生まれ。2018年総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻博士後期課程修了、博士（学術）。立命館大学文学部人文学科地域研究学域・特任助教を経て、2022年4月より京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科・専任講師。GIS（地理情報システム）を基盤とした考古地理学的研究、ならびにデジタル技術を活用した文化遺産の保護やアーカイブ化などを進めている。

